

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	入居者が以前の生活地域との関わりを入居後も持ち続けることが出来るような支援の在り方が出来ないか。ただ自宅に帰ることだけでなく、地域の顔なじみの方々と話せる機会等の支援ができるのではないかな。	入居者が以前の生活地域の顔なじみの方々と定期的に話せる場に出かけられるようにし、入居後も自宅地域の一員として馴染みの関係を維持できるようにする。	入居者の生活地域の自治会あるいはふれあいサロン等の活動拠点を調べ、入居者家族と連携して出かける支援を行う。	4ヶ月
2	3・5	地域密着型サービス事業所として、在宅介護支援センター・地域包括支援センターとの連携をしっかりと持っているとはいえない。地域の認知症の方々やその家族に対して事業所として何か取り組めることは無いのか。	在宅介護支援センター・地域包括支援センターとの連携を深め、認知症の方やその家族の話聞かせていただいたり、認知症ケアの相談を受けたり出来るような地域の認知症サロンの役割を持てるようになる。	在宅介護支援センター・地域包括支援センターとの連携を深め、地域における課題を共有できるような関係を築き、施設が出来ることを提案していく。	10ヶ月
3	5	運営推進会議は、入居者及び入居者の家族、地域住民の代表者、市町村の職員または地域包括支援センターの職員、グループホーム等について知見を有する者などで構成することは承知しているが、現況の構成員の意見に甘んじることなく、様々な方に参加していただくことでより透明性を図り、施設のサービス内容の見直し等向上が出来るのではないかな。	施設の透明性とより良いサービスを提供するため運営推進会議に市職員・地域包括支援センター職員・警察官・消防署員等も構成員になっていただき、施設の取り組みを直に聞いて、意見を伺える会議としたい。	運営推進会議への市町村の職員または地域包括支援センターの職員出席依頼に関しては、当施設だけでのことではなく、市内の他グループホームも出席を希望しており、グループホーム・小規模多機能部会を通して今後も働きかけを行っていきたい。また、入居者が不意に外出されることも鑑みて地域の交番や消防署に署員の会議参加依頼を行っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。